

# 食料・農業・農村基本計画改訂への意見

NPO法人 ラムサール・ネットワーク日本  
金井 裕

NPO法人 ラムサール・ネットワーク日本  
ラムサール条約による湿地保全の推進を目的。

田んぼ、お米、生きもの、農のある地域づくりに  
関係するすべての人へ・・・

みんなの力で  
日本田んぼに  
生きものにぎわいを  
取り戻そう！

水田目標2030

田んぼの生物・文化多様性  
2030  
プロジェクト

## 田んぼの生物・文化多様性2030年プロジェクト

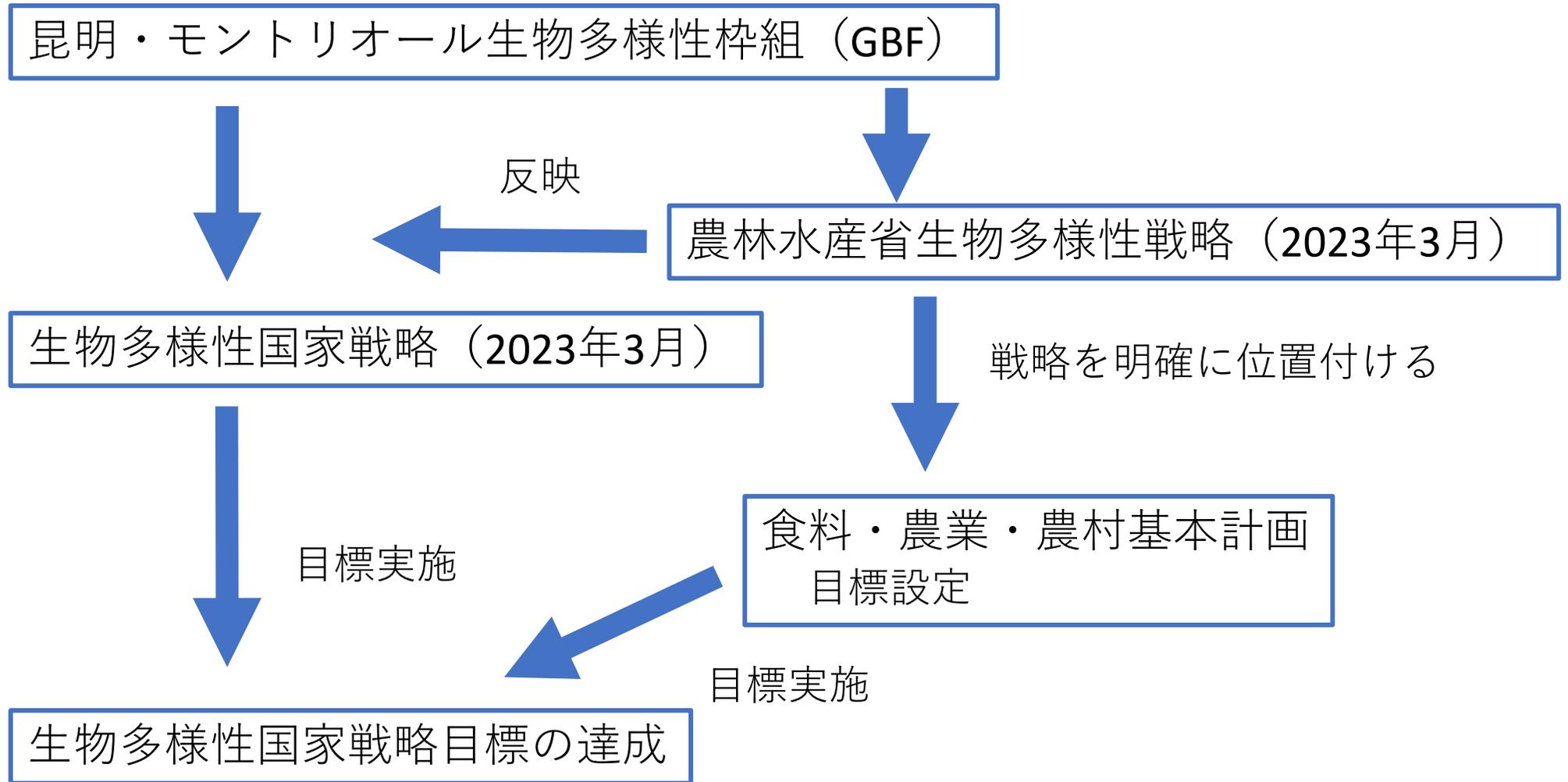
ラムサール条約およびCBDの水田決議に基づき水田の生物多様性向上  
昆明・モンリオール生物多様性枠組(GBF)に向けた水田での活動を展開



# 食料・農業・農村基本計画改定への提言

- 提言1：農林水産省生物多様性戦略の実現を食料・農業・農村基本：計画に位置づけ、国際的な生物多様性保全目標である昆明・モントリオール生物多様性枠組の達成に寄与すること。
- 提言2：ラムサール条約および生物多様性条約の水田決議に基づき、豊かな湿地生態系としての水田の実現を目指すこと。そのために、生物多様性農法を取り入れるとともに、屋敷林やため池など農村景観要素や暮らしや文化など人の営みを含めた農村生態系の向上を図ること。
- 提言3：生物多様性に与える負の影響の最大の原因である農業の環境負荷を特定し、生物多様性に悪影響を与える施策を廃止し、生物多様性の回復に寄与する施策を策定・実施すること。
- 提言4：環境負荷へのクロスコンプライアンスを充実し、生物多様性へ悪影響を与える施策を削減すること。
- 提言5：基本計画の策定にあたっては生物多様性に関わる省庁・自治体部署と連携し地域の生物多様性保全計画と整合した施策とすること。

- 提言1：農林水産省生物多様性戦略の実現により昆明・モントリオール生物多様性枠組の達成に寄与すること。



- 提言2：ラムサール条約および生物多様性条約の水田決議に基づき、豊かな湿地生態系としての水田の実現を目指すこと。そのために、生物多様性農法を取り入れるとともに、屋敷林やため池など農村景観要素や暮らしや文化など人の営みを含めた農村生態系の向上を図ること。

ラムサール条約COP10（2008年）

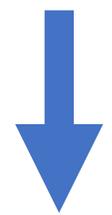
水田決議

生物多様性条約COP10（2010年）

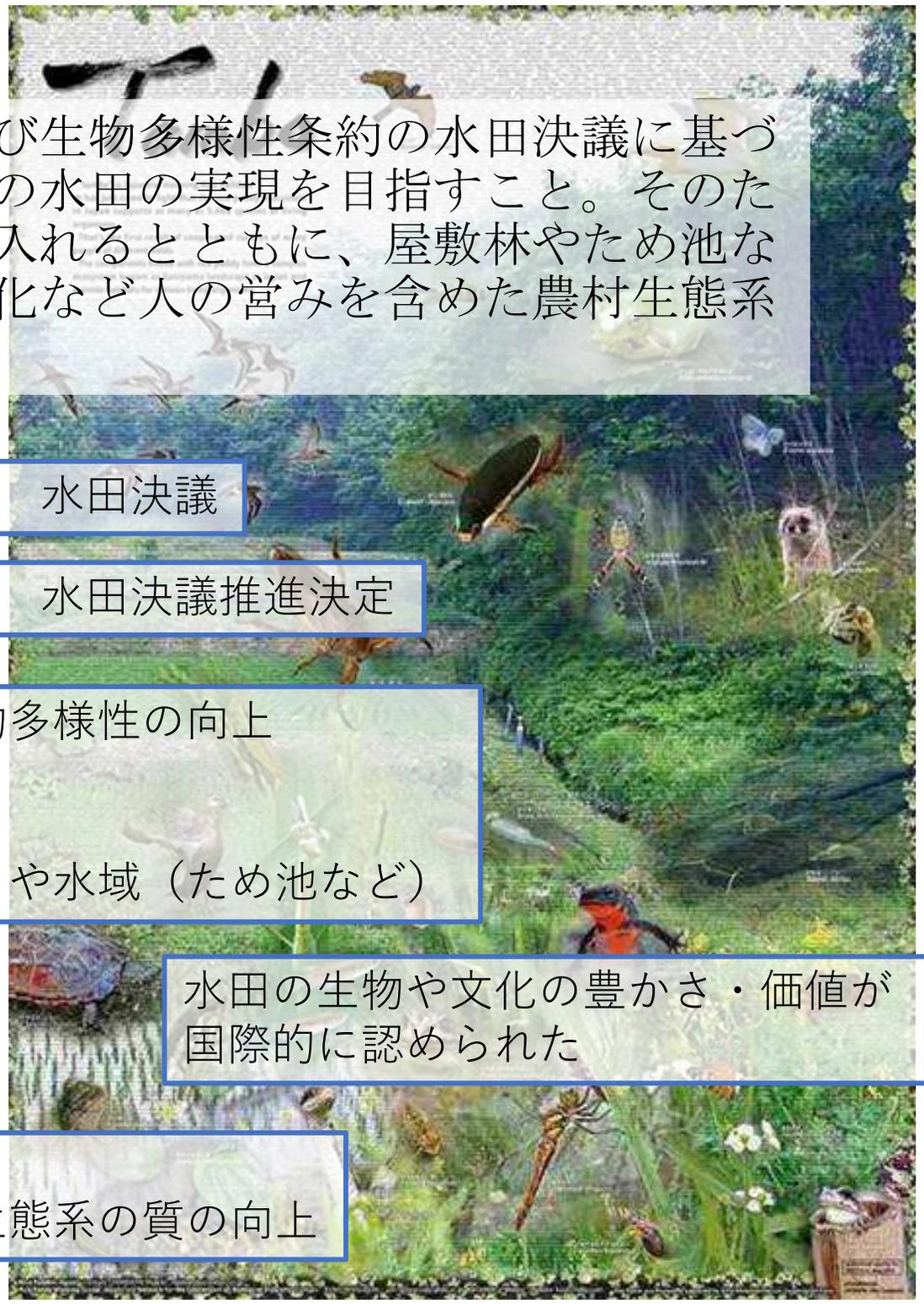
水田決議推進決定

湿地システムとしての水田の生物多様性の向上  
水の循環・保持  
水田の生きものの保全  
水田周辺の樹林（屋敷林など）や水域（ため池など）

水田の生物や文化の豊かさ・価値が国際的に認められた



食料・農業・農村基本計画  
水田地域の湿地生態系・農村生態系の質の向上



- 提言3：生物多様性に与える負の影響の最大の原因である農業の環境負荷を特定し、生物多様性に悪影響を与える施策を廃止し、生物多様性の回復に寄与する施策を策定・実施すること。

農業には環境負荷が存在し、低減しなければならない  
農業基本法第3条

どのような施策が環境負荷を生じているか  
農薬・化学肥料  
水路のコンクリート化  
中干  
プラスチック素材

温室効果ガス対策：中干延長  
生物多様性への負荷

環境負荷の低減対策実施

生物多様性の回復  
過去の環境負荷への対策

施策の廃止

PDCA

食料・農業・農村基本計画



- 提言4：環境負荷へのクロスコンプライアンスを充実し、生物多様性への悪影響を推進する助成・補助施策を削減すること。

環境負荷へのクロスコンプライアンス  
2024年度より試行開始

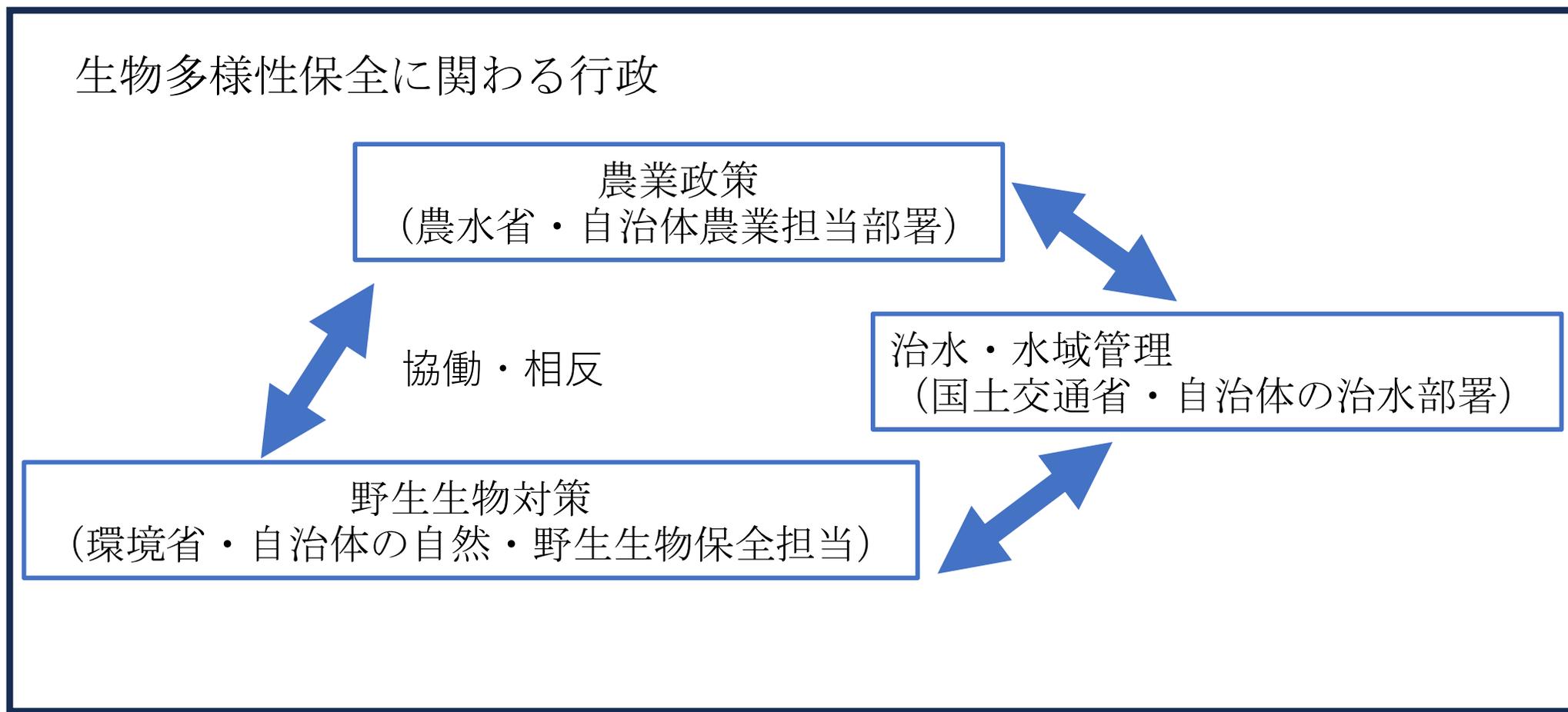
助成・補助事業により環境負荷（劣化）の防止に対して重要  
環境負荷の計測・評価・低減対策の実施

環境負荷の明確化に対応して充実

助成・補助施策を削減



- 提言5：基本計画の策定にあたっては生物多様性に関わる省庁・自治体部署と連携し地域の生物多様性保全計画と整合した施策とすること。



生物多様性地域戦略



今回の基本計画改定が、生きものと人々がともに生きる新しい形の農業・農村を創る計画となることを願います。

